

例 3

ヘチマのくきはどのようにのびるのかなあ

4年生のゆき子さんは、草花を育てるのが大好きです。そして、今年から、さいばい委員会に入り、活やくしています。

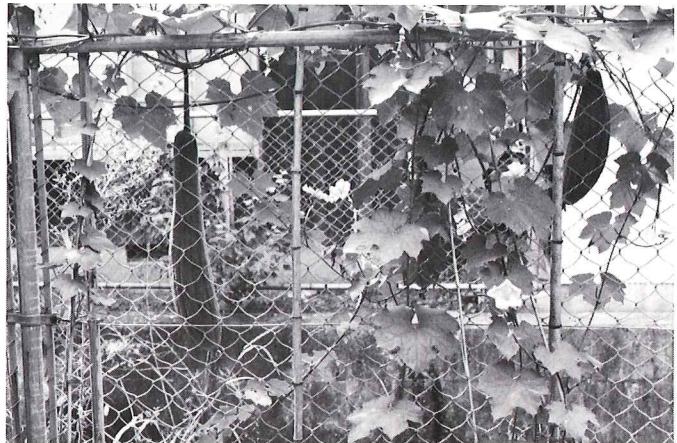
今年のさいばい委員会の活動として、『ヘチマを育てて、ヘチマダワシを作ろう。』ということになりました。

ゆき子さんたちは、5月10日にヘチマの種をまきました。そして、当番を決めて水をやり、かわいがって育てました。

6月の終わりごろには、ゆき子さんの背の高さをこえました。40日ぐらいで約180cmにもなりました。ゆき子さんはびっくりしてしまいました。

『1日に、何cmずつ大きくなるのかな。』
と思い、委員会で話し合ってみました。

『くきのてっぺんのところが、のびていくんじゃないのかな。』



成長したヘチマ

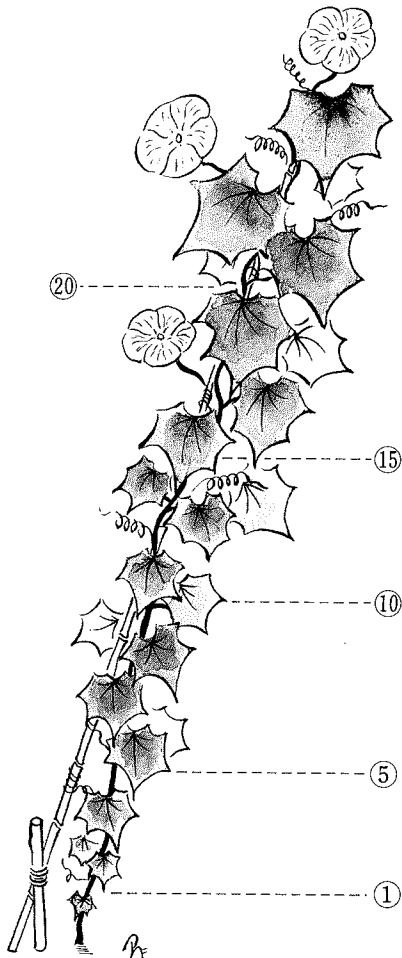
『じゃ、くきの下の方は、もうのびないのかな。』

『くきの全体がのびるんじゃないの？ 輪ゴムを引っ張る
ときのようにのびるんじゃないの。』

『じゃ、くきを測ってみよう。』

『どこを、測ってみようかなあ。』

このような話し合いをした後、次のような方法で観察す
ることになりました。



- ① 観察するヘチマを1本
に決める。
- ② ヘチマの葉に、下から
番号をつける。
- ③ 3日おきに測る。

測定日 (6回)	6月27日
	7月1日
	7月5日
	7月9日
	7月13日
	7月17日

この結果が資料1のようになりました。

資料1 ヘチマのくきのび調べ

単位: cm

ヘチマの葉と葉の間のくき	6月27日の長さ	のびた長さ				
		6月27日 ~7月1日	7月1日 ~5日	7月5日 ~9日	7月9日 ~13日	7月13日 ~17日
①~②	2.0	0	0	0	0	0
②~③	5.0	0.6	0.4	0.5	0.5	0
③~④	8.0	1.4	0.6	2.5	0.5	0
④~⑤	9.0	0.4	1.0	2.4	1.0	0
⑤~⑥	7.5	2.0	1.0	3.5	0.5	0
⑥~⑦	5.0	1.6	0.7	2.7	2.0	0
⑦~⑧	3.0	2.0	2.0	3.0	0.5	0
⑧~⑨	2.0	1.3	3.0	0.7	3.0	2.0
⑨~⑩	1.6	0.7	7.5	2.7	3.8	2.0
⑩~⑪		0.5	10.5	7.5	1.5	2.3
⑪~⑫			9.5	4.5	2.0	1.0
⑫~⑬			10.5	4.3	0.5	4.0
⑬~⑭			12.5	3.0	1.5	2.5
⑭~⑮			8.0	6.0	4.0	1.0
⑮~⑯			2.3	11.2	4.5	0.8
⑯~⑰			1.0	11.0	5.0	1.0
⑰~⑱		0.5	12.1	3.4	1.5	
⑲~⑳				5.0	7.5	5.3
⑳~㉑				3.8	8.0	7.2
㉑~㉒				2.0	9.0	6.8
㉒~㉓				1.0	8.5	8.5
㉓~㉔				0.8	8.2	8.0
㉔~㉕					4.5	16.5
㉕~㉖					1.6	16.4

この資料をもとにして、いいんかい委員会で話し合いました。

- 下の①~②の間のくきは、全然のびていない。手でさわってみると、たいへん固い。
- たいへんよくのびるくきは、だいたい、上から5・6番目の葉と葉の間のくきだ。(資料の○印の部分)
- 4日間でグーンとのびる時と、少ししかのびない時がある。
- 前の日に、雨が降ったり、たっぷり水やりした後ではよくのびるようだ。

そこで、6月27日から7月17日までの天気を調べることにしました。

資料2 天 気 調 ベ

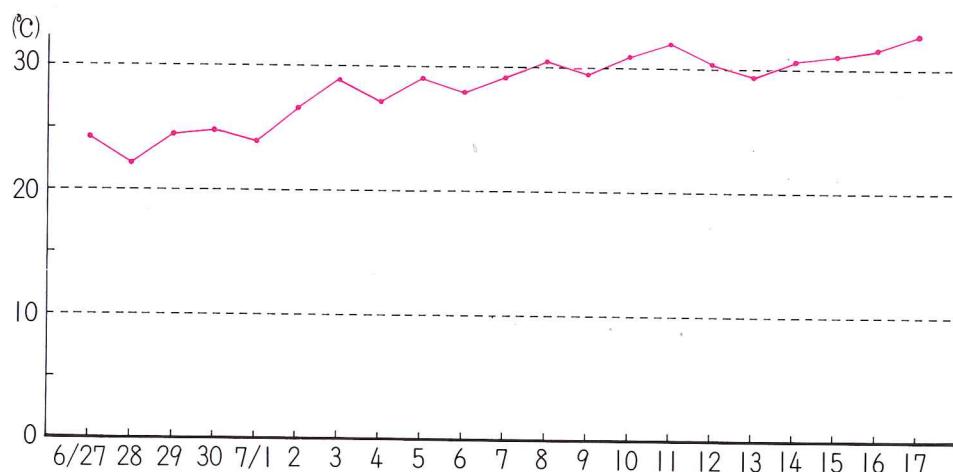
月 日	6/ 27	6/ 28	6/ 29	6/ 30	7/ 1	7/ 2	7/ 3	7/ 4	7/ 5	7/ 6	7/ 7	7/ 8	7/ 9	7/ 10	7/ 11	7/ 12	7/ 13	7/ 14	7/ 15	7/ 16	7/ 17
天 気	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

この資料2からも分かるように、7月1日から7月5日の間に雨がかなり降っていることがわかりました。

ゆき子さんは、この後、くきののびは、雨ばかりではなく気温にも関係があるのではないかと考え、今度は、気温を調べてみることにしました。

資料3 気 温 調 ベ

(毎日朝10時半測定)



この資料3からもわかるように、7月に入ってから、ぐんぐん気温が上がり、30度前後の暑い日が続いていました。やはり、ヘチマのくきの伸びは、雨や気温に関係があり、たくさん水を吸ったり、暑い日が続いたりするとよく伸びることがわかりました。

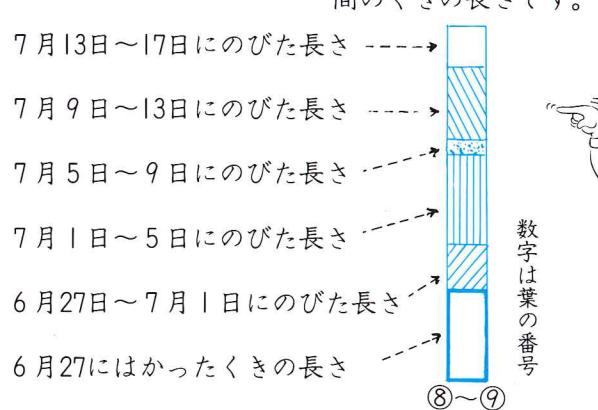
ここまで調べ終わると、さいばい委員長が、『こんどの全校集会に、このことを発表しましょう。』と、提案しました。委員会のみんなは大賛成しました。

先生が、

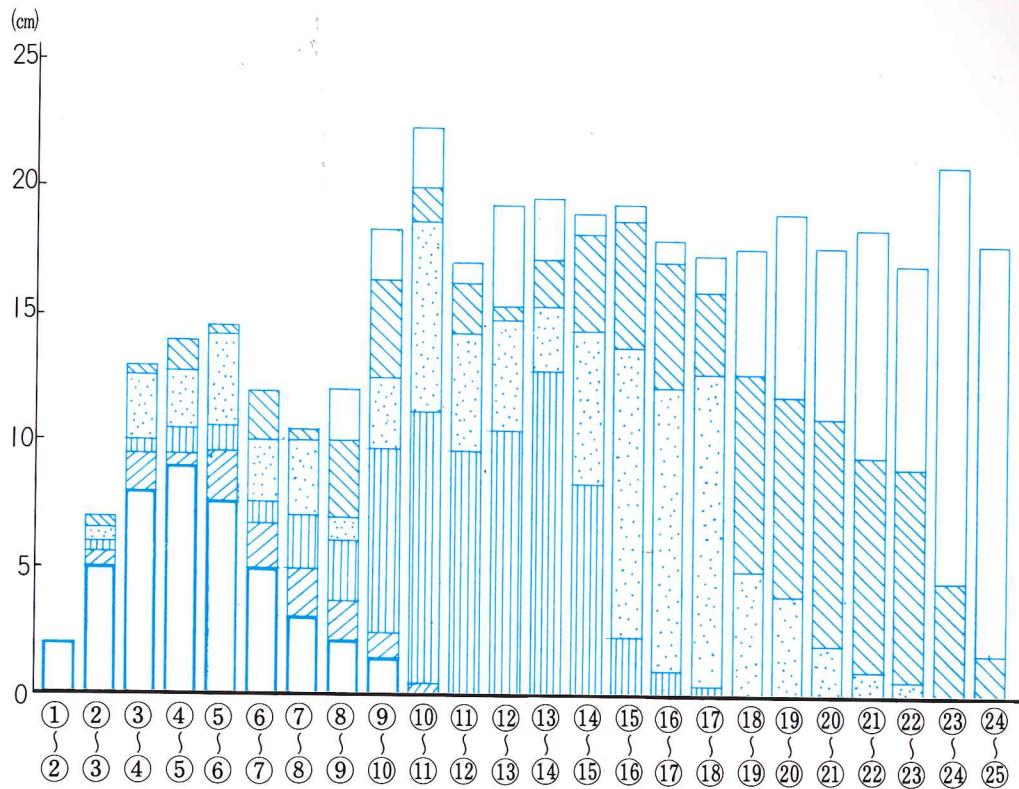
『すばらしいことだが、資料1の表では、ヘチマのくきの伸び方が、よくわからないんじゃないかな。』と、おっしゃいました。

そこで、さいばい委員会では、資料1を棒グラフにしてみよう話し合いました。

ここで、資料4の棒グラフの説明をします。



しりょう
資料4 ヘチマのくきののび調べ

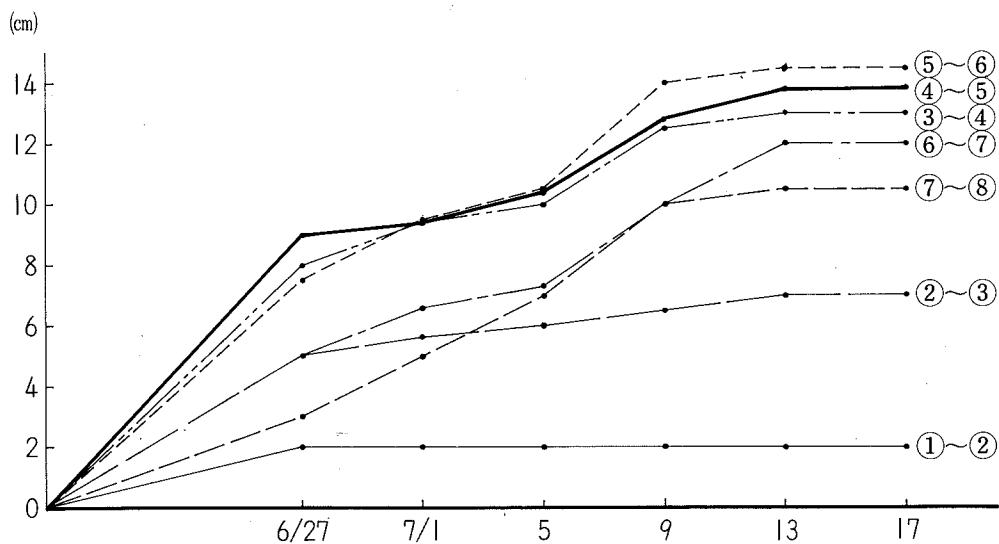


このグラフでもわかるように、①～②のくきは何日たつても、全然のびていません。そして、②～③、③～④、④～⑤、⑤～⑥、⑥～⑦、⑦～⑧のくきは、7月17日には、もうすっかりのびなくなっています。このことから予想できることは、下の方のくきから、だんだんのびなくなり、止まってしまうことです。また、⑩～⑪のくきからわかることは、新しくできたくきは、まだやわらかくて細い時に、ぐーんとのびて、だんだん太くなると、のび方が少ないことです。

資料4の全体をみて、この20日間に一番よくのびたくきは、⑩～⑪のくきだということがよくわかります。

そこで、ヘチマのくきののび方のちがいを見てみました。その方法として、すでにのびなくなったくきののび方を折れ線グラフで表してみました。

資料5 ヘチマのくきののび調べ



ゆき子さんは、この資料5から、くきののび方は、2週間ぐらいは、ぐんぐんのびるけど、それをすぎると、どのくきもほとんどのびなくなることがわかりました。

これらの資料をもとに、ゆき子さんたちは、全校集会でとてもすばらしい発表をしました。